

平成29年度 認知症・精神疾患対応研修会 開催要項

テーマ『レビー小体型認知症とアンガーマネジメント』

1 趣 旨

高齢者人口増加のピークを迎える2025年には、認知症の方は700万人に達すると推計され、これは65歳以上の5人に1人の割合です。その中でレビー小体型認知症は、アルツハイマー型認知症に次いで2番目に多い認知症でありながら、症状が多彩であるために認知症としての受診支援を受けにくい特性を持っています。今後、適切なケアをするための正しい知識が必要となります。

加えてこれからは、医療的な視点からのケアや連携を要する方が多くなると考えられ、職種間の連携によるチームケア、家族アプローチ、医療機関との円滑な連携が必要です。そのための1つの手法として、アンガーマネジメントを身に着けることで、自分自身の思考のクセを知り、感情を上手にコントロールして、他者とより良いコミュニケーションを行い、現場を支え合うチームワークの土台を形成することができます。

高齢者福祉施設の職員として、正しい知識を学びコミュニケーション力を高めることで、その機能と役割を十分に発揮する環境を構築することを目的として本研修会を開催します。

2 主 催



3 日 時

平成30年2月16日（金）午前10時から午後4時30分まで

4 会 場

山口県社会福祉会館 4階 大ホール
（山口市大手町9-6 TEL083-924-1025）

5 参加対象・定員

老人福祉施設の職員または施設長
定員：80名

6 参加費（研修会当日、受付にてお支払いください。）

（1）会員施設の職員 1名につき 3,000円

（2）非会員施設・事業所の職員 1名につき 6,000円

※ 会員施設と同一法人内の有料老人ホーム、デイサービス事業所、グループホーム等に所属する職員は、非会員施設扱いとなります。

7 日程・内容（案）

時刻	プログラム	内容
10:00	開 会	あいさつ
10:10	講 演	「レビー小体型認知症を学ぶ（仮）」 （内容） 認知症の種類は、原因になる病気によって70種類くらいに分けられますが、そのなかで多いのが、①アルツハイマー型認知症、②レビー小体型認知症(DLB)、③脳血管性認知症です。なかでも近年増加している「レビー小体型認知症」の症状や特徴、ケアの方法について御講演いただきます。 講師： 医療法人水の木会 下関病院 中山 寛人 氏
12:00	昼 食	
13:00	講演・演習	「職場に活かすアンガーマネジメント」 （内容） 仕事をする上で大切な、チームワークの土台を築くためには、より良いコミュニケーションを行うことが求められます。 その1つの手法としてアンガーマネジメントが注目されています。怒り発生のメカニズムを理解し、自分の感情をコントロールし、相手に上手に伝える技術を習得することで、ストレス軽減や様々な場面でのリスク回避も期待されます。現場を支え合うチームワークの土台を形成するための御講演をいただきます。 講師： オフィスDear 代表 今村 ゆか 氏
16:30	閉 会	

8 参加申込み

(1) 別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、FAXにてお申込みください。

※ 参加券の発行等、申込み完了の連絡は行いません。

※ 参加をお断りする場合のみ事務局より連絡いたします。

(2) 申込み期限：平成30年1月31日（水）まで

9 昼食

お弁当を1個600円（税込み・お茶付き）で斡旋します。斡旋希望の方は、「参加申込書」の「昼食弁当欄」に記入ください。研修会当日、受付にて食券を購入してください。

10 個人情報の取扱い

「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修会の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修会の参加者名簿には、施設種別、施設名、役職名、氏名を掲載いたします。

11 問い合わせ先

山口県老人福祉施設協議会 事務局

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

総務企画部 福祉振興班

担当：福田、前田、石原

〒753-0072 山口市大手町9番6号

TEL (083) 924-2799

FAX (083) 924-2798

【会場周辺地図】

